

春寒の西穂高

期 間：平成 28 年 3 月 18 日（金）～ 3 月 19 日（土）

種 別：個人 参 加 者：富岡 山 域：北アルプス 西穂高

コースタイム：

3/18 自宅(7:30)⇒新穂高ロープウェイ駅(13:30)⇒西穂山荘(15:00)

3/19 西穂山荘(5:45)⇒西穂 独標(7:20)⇒西穂山荘(8:20)⇒西穂口駅
(10:45)⇒新穂高ロープウェイ駅(11:30)

今回は、初めて西穂の山頂を目指した。しかし、悪天のために独標までしか進むことが出来ず。天候次第で山の難易度は変わることを再認識した。

3/18 天気：曇り

今回、新穂高ロープウェイ駅まで車で行く。松本 IC から上高地方面に進み、安房トンネルを抜けると 30 分程度で到着する。ロープウェイで西穂口駅まで上がる。平日にも関わらず、ロープウェイの中は海外からの観光客で賑わっている。その賑わいも庭園までで、登山道は平日の静かな山となる。



【登山道からの西穂高】

登山道から主峰から 11 峰独標まで見えた。明日の天候に頭で不安を感じながらも、心の中で期待を抱いてしまう。約 1 時間で山荘に到着するが、到着直後から雪が降り出す。

3/19 天気：雪

朝になっても、雪は降り続けている。稜線に出ると、風は強さを増し、細かい氷のような雪が激しく打ち付ける。途中で引き返すグループもある。厳しい環境だが、よく食べ、よく寝た体と心は元気だ。しかし、独標に立ち、その先のルートを進むことが出来なかった。



【西穂独標にて撤退】

今回は悪天のために独標から戻ることになったが、不満はない。悪天の雪山でも歩くのが楽しかったから、口角があがっている。山って、不思議だ。そして、今回の経験や判断は今後の登山に活かすことができるだろう。

下山後は、明日から鳳凰三山のために露天風呂でゆっくりと体を癒す。リフレッシュした体と心で南アルプスにむかう。